

除籍候補資料の処理を考える

— 除籍と保存のジレンマを解消するために —

パネリスト・中原千佳氏 / 西東京市図書館

・吉本龍司氏 / (株)カーリル代表

・堀越洋一郎 / 多摩デポ・理事

コーディネーター 齊藤誠一 / 多摩デポ・理事

図書館では、除籍と保存は表裏一体のものです。保存という概念には、“捨てる”という考えも含まれています。このことは図書館員にとっては、悩ましいことです。

多摩デポでは、除籍する資料を最小限にとどめ、いかに資料を残していくかを考えてきました。そのために「多摩地域公共図書館蔵書確認システム (TAMALAS)」を開発し、多摩地域で最後の 2 冊に該当する資料を効率的に調べる仕組みを公開しています。

昨年、西東京市図書館から大量の除籍候補資料の調査を依頼され、TAMALAS での大量一括検索と ISBN が無い資料を都立図書館の“統合検索”を使って調査しました。その経験の中で除籍処理に関する教訓や課題を得ることができました。

除籍作業は、先ず除籍候補の選別に始まり、除籍か保存かの判断を経て進められます。保存と判断した資料のその後の処理も必要で、そのワークフローは重要です。

今回の多摩デポ講座では、これまでの除籍資料調査から得た教訓や TAMALAS の使い勝手を議論し、ISBN コードの問題点についても再考します。除籍と保存のワークフローを踏まえて、現場の作業の更なる効率化をめざしていきたいと思えます。

多くの方のご参加をお待ちしています。

日時：9月18日(月・祝日) 午後6時30分～9時

会場：国分寺労政会館3階 第3会議室

(JR国分寺駅南口徒歩5分)

国分寺市南町 3-22-10 TEL:042-323-8515

参加費：500 円(資料代)

事前申込不要(先着 70 人)

《主催：問い合わせ先》

特定非営利活動法人共同保存図書館・多摩

〒182-0011 調布市深大寺北町 1-31-18

●HP: <http://www.tamadepo.org/> ●E-Mail: depo_tama@yahoo.co.jp

●TEL&FAX: 042-484-3945 (不在が多いので問い合わせはメールで)

「多摩デポ」については、ホームページもご覧ください。